





台風19号などによる
甚大で広範囲な連続した被災。
多久市も激甚災害の被災地ですが、
それら被災地からの報告と意見が
有益ではないかとも思うところです。

けれども今は当面の対策に奔走中です。
改めて心よりお見舞いを申し上げつつ、

意見発表させていただきます。

令和元年8月の前線に伴う豪雨災害 の多久市内の被災状況とこれから



牛津川越流時(8月28日)

令和元年11月6日@治水事業促進全国大会
多久市

令和元年10月4日現在

この大会を契機に、よりよい
未来へ飛翔できるように



創建311年の多久聖廟（孔子廟）

春と秋の釈菜（せきさい）
孔子生誕地・曲阜市と
交流論語・儒学を活か
す活動



『論語かるた』

- 論語に親しみ、教えを学ぶ
- 百人一首方式かるた
- 普通に100の言葉を暗唱できる
- 「面白・珍百景」にも選定

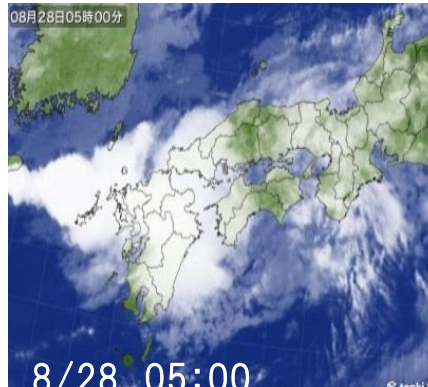
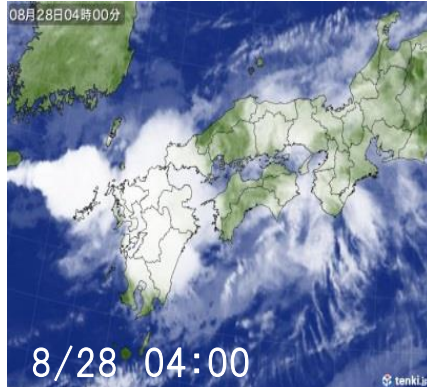
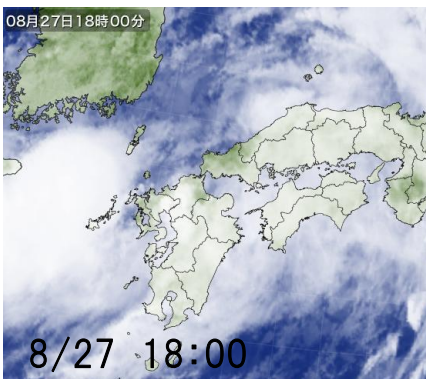
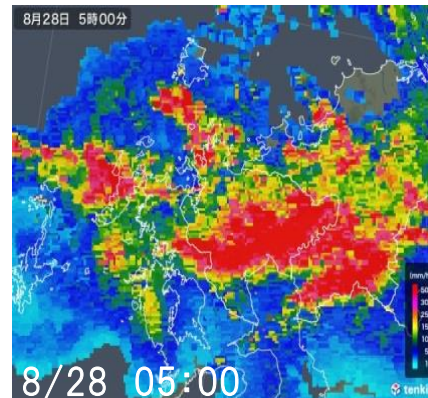
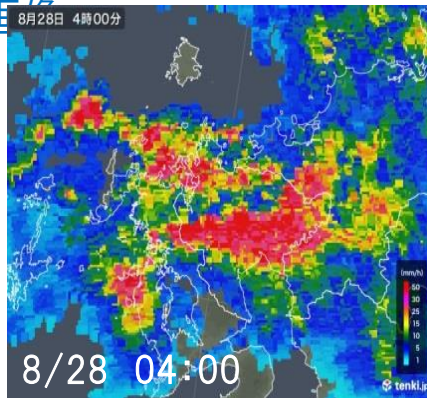


8月27～28日の豪雨

1. 気象の状況と雨量・・・・線状降水帯による豪雨

対馬海峡付近に停滞した前線に向かって、暖かく湿った空気が流れ込み、九州北部で急速に雨雲発生が続いて線状降水帯状態となり、記録的な大雨をもたらした。佐賀県内では27日朝から28日夜を中心に断続的大雨となった。多久市でも1時間雨量100mmを超える地区もあった。

26日の降り始めから28日までの累積総雨量は、岸川 568mm、北田橋 563mm、今出橋 566mm、西多久 516mm、井上 537mm、南溪 548mmとなった。県内でも最多の状況である。



累計雨量

岸川 568mm
(最大時間雨量 8/27 18時 89mm)

北田橋 563mm
(最大時間雨量 8/28 04時 85mm)

今出橋 566mm
(最大時間雨量 8/28 04時 85mm)

西多久 516mm
(最大時間雨量 8/28 04時102mm)

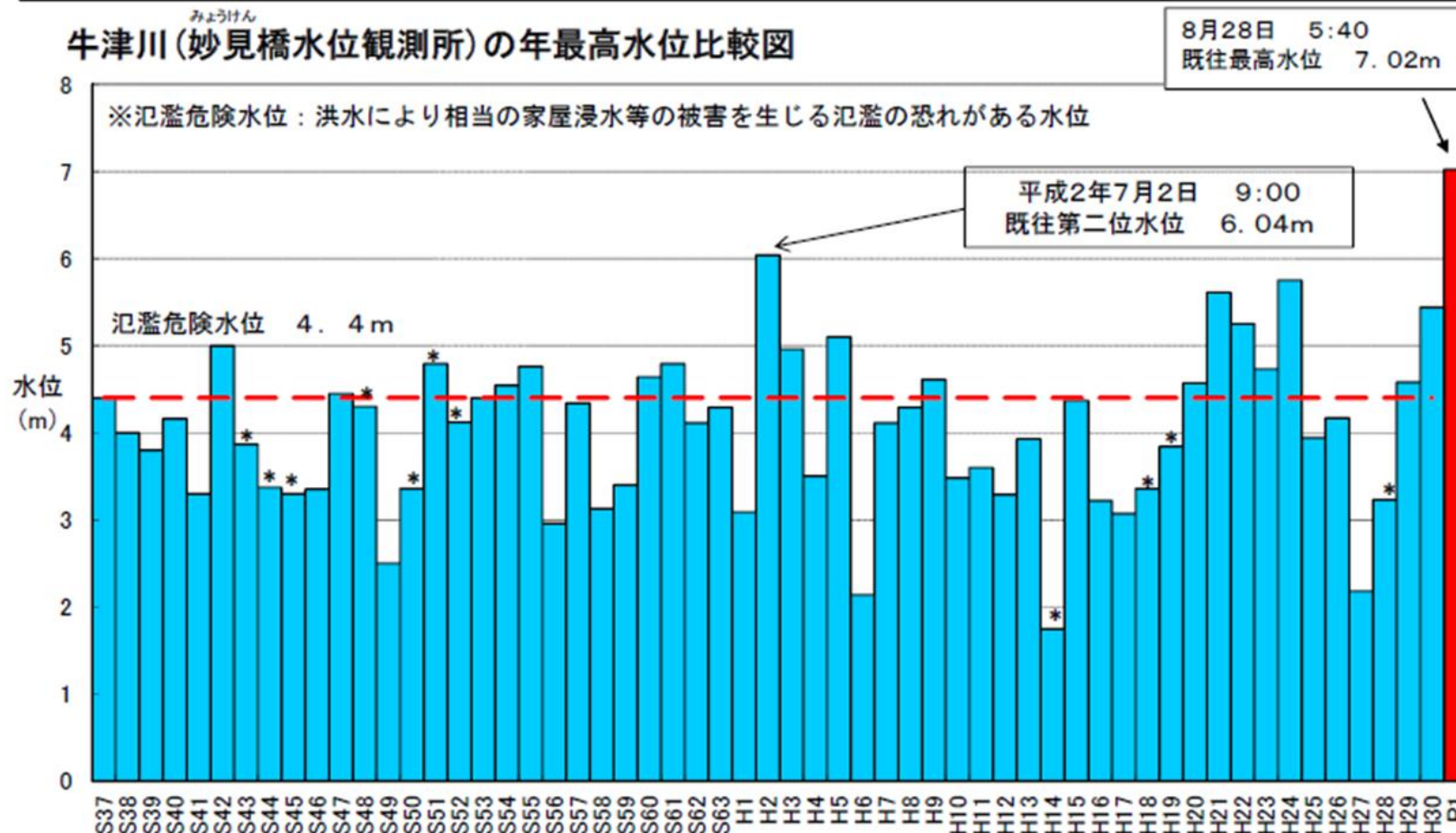
井上 537mm
(最大時間雨量 8/28 04時 99mm)

南溪 548mm
(最大時間雨量 8/28 05時 99mm)

2. 牛津川の水位状況 ……国土交通省データでみる

4. 水位の概要①（六角川水系牛津川）

六角川水系牛津川妙見橋水位観測所において、氾濫危険水位を超過し、8月28日5時40分に既往最高のピーク水位7.02mを記録しました。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

*：水文観測データ統計処理要領より統計データでは欠測であるが、比較が可能なようにデータを補填



牛津川の水位状況

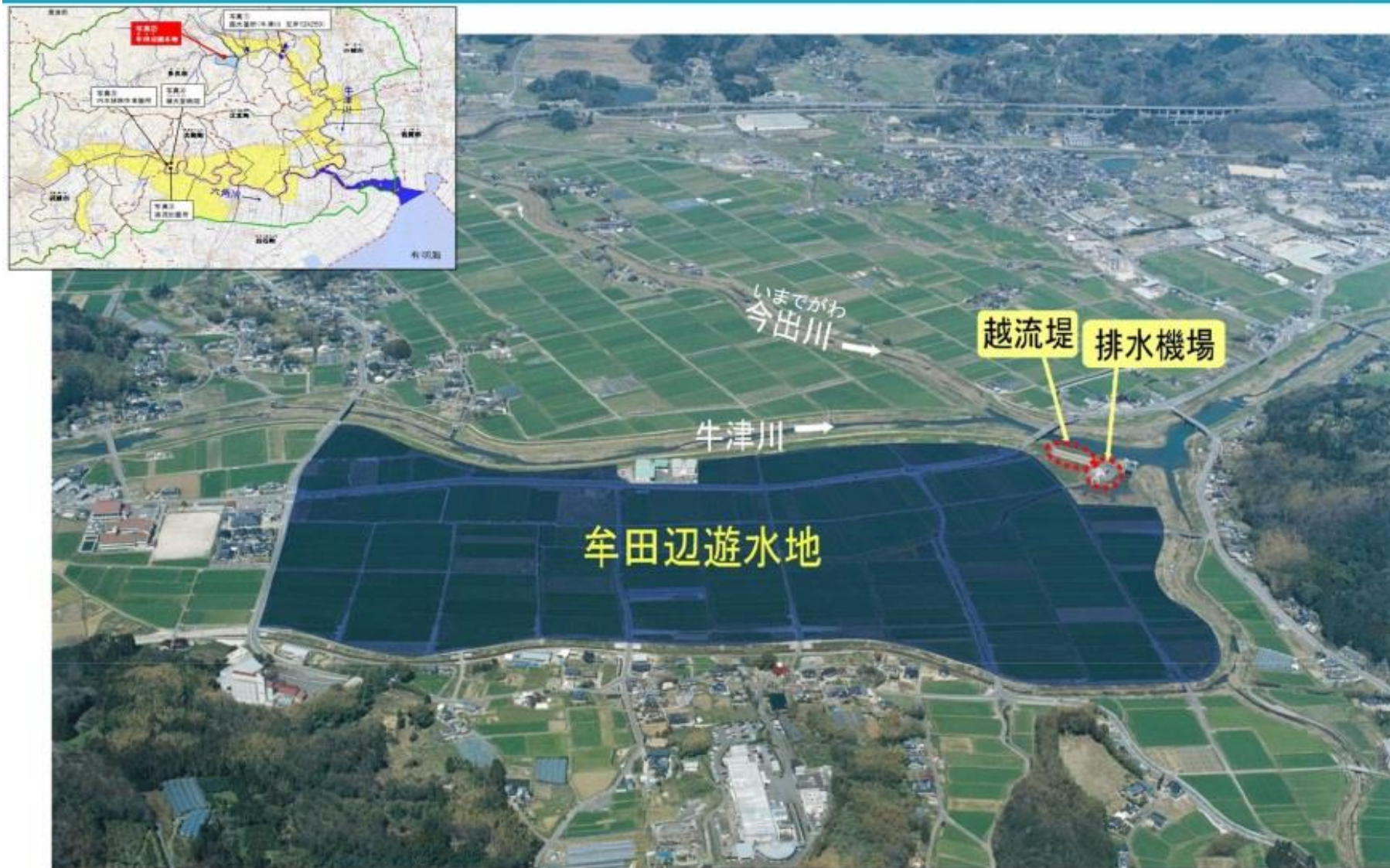


3. 牟田辺遊水地の状況

資料提供: 国土交通省

6. 写真②牟田辺遊水地 航空写真（平常時）

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau



3. 牟田辺遊水地の状況

資料提供: 国土交通省

6. 写真②牟田辺遊水地流入状況

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau



8月27日18時37分頃

牟田川 右岸 15k200

ひらせばし
平瀬橋

牟田川

牟田辺遊水地

佐賀県多久市南多久町

牟田辺排水機場屋上

4. 浸水の状況

資料提供: 国土交通省

みょうけん

妙見橋水位観測所 最高水位7.02m(8月28日5時40分)



池田川排水機場付近より多久市側(牛津川越水状況)

4. 浸水の状況

資料提供: 国土交通省

妙見橋水位観測所 最高水位7.02m(8月28日5時40分)



池田川排水機場付近から小城市側(牛津川越水状況)

4. 浸水の状況

資料提供: 国土交通省



東多久町 羽佐間地区

4. 浸水の状況

資料提供: 国土交通省



4. 浸水の状況





排水ポンプも大雨で被害 現場から最新情報

納所排水機場(多久市東多久町)



現場から最新情報

納所排水機場(多久市東多久町)



4. 浸水の状況



東多久町 渋木地区

4. 浸水の状況



4. 浸水の状況



県道 南多久公民館前

5. 多久地区の気象警報と土砂災害警戒情報

8月27日

- 6:24 大雨警報発表
- 17:15 土砂災害警戒情報(レベル4相当)発表
- 17:33 洪水警報発表
- 17:50 牛津川氾濫危険情報

8月28日

- 4:07 多久市付近で記録的短時間大雨情報(4:00 約110mm)
- 4:27 多久市付近で記録的短時間大雨情報(4:20 約120mm)
- 5:50 大雨特別警報(レベル5相当)発表
- 8:00 牛津川氾濫情報(レベル5相当)発表(右岸:納所、左岸:上右原)
- 13:40 牛津川氾濫注意情報(レベル2相当)に変更
- 14:55 大雨特別警報解除
- 19:00 牛津川氾濫注意情報(レベル2相当)解除

8月29日

- 11:30 洪水警報解除

8月30日

- 7:25 土砂災害警戒情報解除
- 16:07 大雨警報解除

6:24 災害情報連絡室設置

17:00 災害対策本部設置

17:20 避難勧告(東多久町8地区、南多久町2地区)
避難所開設

18:00 避難勧告(市内全域)

5:30 自衛隊派遣要請

5:42 緊急放送「命を守る行動を」

5:55 市長特別放送

8:40 避難勧告解除(全地区)
避難所閉鎖

6. 消防団の活動状況



7. 関係機関との連携及び活動状況



自衛隊による孤立住民の救助
(牛津川妙見橋南側の羽佐間地区)

7. 関係機関との連携及び活動状況

国土交通省 TEC-FORCE による
災害現場調査報告と復旧復興への助言

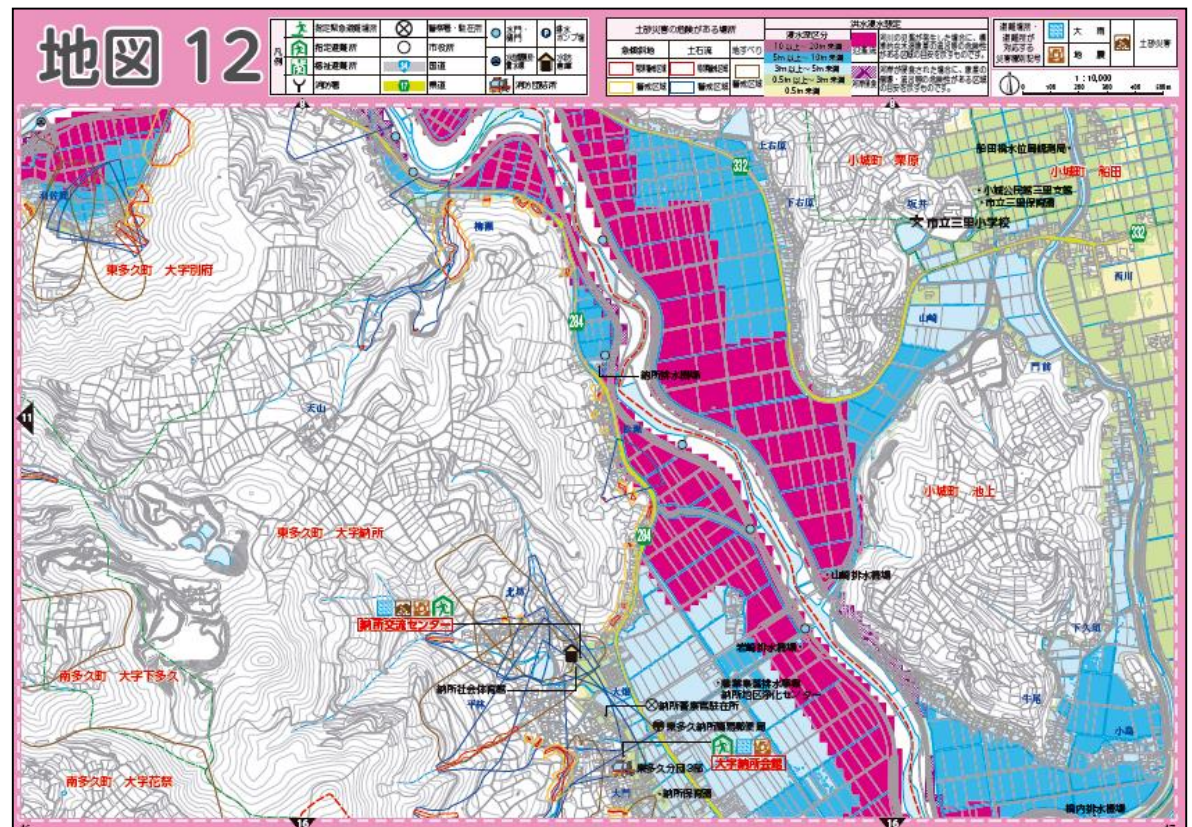


8. 避難所・避難者の状況

避難所	世帯数	人数	男	女	備考
納所交流センター・ 納所会館	22	26	2	24	納所会館8/28 5:30～10:20開設 (交流センター周辺冠水のため)
東多久公民館・ 東部校体育館	51	115	46	69	東多久公民館 8/28 7:00～8/29 13:30閉鎖(浸水の可能性)
南多久公民館	13	34	11	23	
中央校前期体育館	14	40	18	22	
多久公民館	22	47	14	33	
西多久社会体育館	13	31	17	14	
北多久公民館	55	88	38	50	
児童センター	3	11	6	5	8/28 5:50開設 8/28 18:30閉鎖
天寿荘	5	5	1	4	
計	198	397	153	244	397人/19,166人 =2.1%(避難者の割合)

※その他、両の原公民館、砂原公民館、小侍公民館、仁位所公民館、浦山区公民館、宿公民館、山口公民館で自主避難所開設。

9. 多久市防災ハザードマップ



10. 主な被災状況

○災害報告書受付状況 95行政区1,151箇所(10月4日現在)
行政区の区長から被害報告

○人的被害 なし

○住宅被害 大規模半壊 1棟
半壊 29棟
一部損壊 1棟
床上浸水 40棟
床下浸水 127棟

○市道 196箇所

○河川 142箇所(10月8日現在)

○林道 19路線108箇所(10月8日現在)

○農地 被害報告書調査中 600箇所(10月8日現在)

11. 道路等被災状況

横柴折地区道路崩落現場



番所地区道路崩落現場



岸川地区法面崩落現場



11. 道路等被災状況



11. 道路等被災状況



11. 道路等被災状況



道路の損壊

12. 河川等被災状況

瓦川内地区護岸崩壊



12. 河川等被災状況



12. 河川等被災状況



13. 農地等被災状況



13. 農地等被災状況



天ヶ瀬地区(農道)地すべり
農道部被災状況

13. 農地等被災状況



農業用ハウス被災状況
西多久町ハウスみかん

14. 林道・森林等被災状況



14. 林道・森林等被災状況

林道岸川支線林道橋橋梁上部工流出



14. 林道・森林等被災状況



14. 林道・森林等被災状況

国土交通省ヘリコプターから見た被災状況



14. 林道・森林等被災状況



15. 民地裏山等被災状況

道祖元地区斜面崩壊現場



15. 民地裏山等被災状況



藤の川内地区土砂崩落



15. 民地裏山等被災状況



15. 民地裏山等被災状況



牟田辺地区土砂崩落



16. 災害廃棄物への対応

災害廃棄物および流入土砂の仮置き場の設置

8月29日午後よりTAQUA南側駐車場で災害廃棄物を11分別方式で受付開始

9月9日からは持込みの事前予約による対応

受入台数の推移（10月4日までの搬入台数）

	8/29 木	8/30 金	8/31 土	9/1 日	9/2 月	9/3 火	9/4 水	9/5 9/11 木～水	9/12 9/18 木～水	9/19 10/4 木～月	計
災害 廃棄物	7	215	304	269	93	82	107	377	78	50	1,582
土砂のみ	-	-	-	2	1	14	8	5	11	-	41



17. 災害ボランティアの活動と貢献

8月29日 多久市災害ボランティアセンター設置（社会福祉協議会内）

8月31日 ボランティア受け入れ開始

10月4日までの活動状況

	ボランティア 受入数（人）	県外	県内	受入希望 累計件数	TAQUA 入浴利用数
8/31 土	142	75	67	21	42
9/1 日	141	69	72	35	27
9/2 月	51	40	11	39	15
9/3 火	46	28	18	46	21
9/4 水	84	40	44	56	休館
9/5 木	50	32	18	63	休館
9/6 金	85	58	27	72	38
9/7 土	51	30	21	81	35
9/8 日	89	57	32	93	42
9/9月～ 9/15日	266	187	79	128	160
9/16月～ 9/18水	109	80	29	140	86
9/19木～ 10/4金	32	21	11	144	—
合計	1,146	717	429	144	466



ボランティアセンター受付の様子



ボランティアの活動風景



天山多久温泉TAQUAでは、多久市内で災害ボランティア活動された方に無料で入浴していただくサービスを実施されました。

※9月19日から災害ボランティアの受付は原則、県内在住者の方で事前登録制となっています。

18. 災害応援協定による支援活動

団体名・企業名	協定の名称	主な支援活動
国土交通省九州地方整備局	多久市における大規模な災害時の応援に関する協定	リエゾン(現地情報連絡員)を市災害対策本部へ派遣し情報交換と情報共有
多久市防災協力連絡協議会	多久市防災協力協定	公共土木施設・林道等の被害情報収集、応急工事及び障害物の撤去
一般社団法人 佐賀県産業資源循環協会	地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等の協力に関する協定	災害廃棄物仮置き場における搬入廃棄物の処理協力 作業用重機及びオペレータの派遣 実施事業者：株式会社平成開発
天山地区環境整備事業協同組合	災害時における一般廃棄物（し尿）の収集運搬に係る支援協力に関する協定	浸水した空き家長屋におけるし尿の収集運搬の対応 実施事業者：有限会社多久環境整備センター
公益財団法人 佐賀県不動産鑑定士協会	災害時における住家被害認定調査等に関する協定	被災した住宅を訪問し、建物の被害状況を調査
株式会社多久ケーブルメディア	災害時における情報通信・伝達協力に関する協定	テレビがない避難所（体育館）にテレビを無償設置
佐賀富士ベンディング株式会社	災害時における飲料等の提供協力に関する協定	同社多久支店にある在庫飲料（水など）の優先提供
佐賀富士ベンディング株式会社	災害時対応自動販売機設置の設置に関する協定	災害発生時に必要となった飲料について自動販売機内の飲料を無料開放
株式会社ゼンリン	災害時における地図製品等の供給等に関する協定	住宅地図帳の無償提供（貸与5冊、贈与5冊） ZNETTOWN（WEBで利用する地図）のIDの無償提供
宮城県南三陸町	災害時における相互応援協定	住家の被害認定調査へ職員を派遣
佐賀県、唐津市、みやき町、玄海町、伊万里市、嬉野市	佐賀県・市町相互応援協定	住家の被害認定調査へ職員を派遣 佐賀県：毛布、ブルーシートの提供 嬉野市：ブルーシートの提供

19. 被災者支援の取り組み(1)

- 罹災証明書申請・罹災届出証明書の発行受付
9月3日から市役所 1 階市民ホール特設ブース
で受付開始。 10月4日現在、124件受付。
(うち、罹災証明78件、罹災届出証明113件)



- 住家の被害認定調査
第1次調査 9月11日～13日、
第2次調査 9月17日～27日



- 被災者支援体制への人的支援要請
 - ・ 佐賀県庁・佐賀県、唐津市、玄海町、伊万里市、不動産鑑定士協会からの人材派遣を受け 1 次調査実施
 - ・ 南三陸町はじめ、佐賀県、唐津市、玄海町、伊万里市、不動産鑑定士協会からも人的支援を受け 2 次調査



19. 被災者支援の取り組み(2)

●罹災証明書の交付

罹災証明書の申請があった住家の被害認定調査は
9月27日までに終了。

9月28日～30日に申請者に調査結果を説明して、
罹災証明書を交付。

(来庁70件、うち証明書交付69件、再調査1件)

10月4日現在、証明書交付71件

●各種被災者支援制度の周知広報

(罹災証明書発行時に案内、市報10月号特集掲載)

- 義援金配分、各種見舞金制度
- 市営住宅の一時入居等支援
- 市税等の減免
- 料金、保険料等の減免
- 保育料の減免
- 医療費等の減免
- 事業者向け貸付事業 他



20. 復旧復興推進の取り組み

●財源確保と事業推進

- ・ 激甚災害指定（局所激甚災害）による財政支援で推進
そのためには期日までに詳細調査・設計等が必要

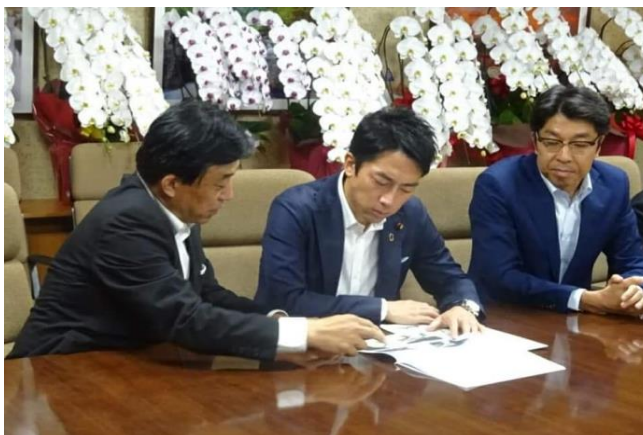
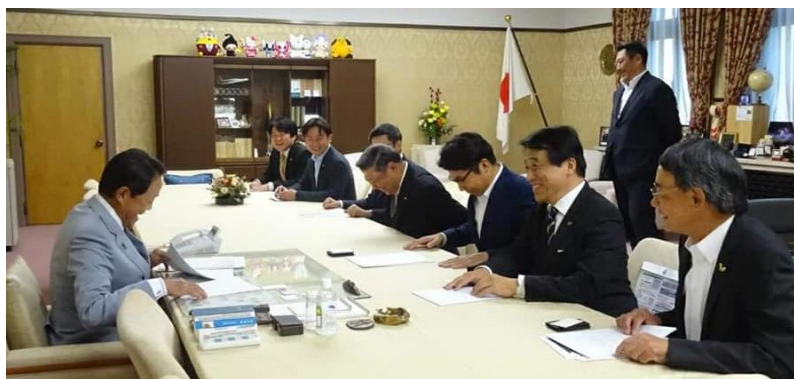
●人員の確保と態勢強化

- ・ 佐賀県から、ならびに県を經由して知事会へ、また佐賀県市長会を經由して全国市長会へ応援要請
- ・ 災害時の相互応援協定を結んでいる、全国青年市長会、嘸鳴フォーラム、さらに改革進化市長の会など首長による交流のある自治体へ応援を要請
- ・ 10月1日から佐賀県ほか各県から派遣、10月後半から日田市、鎌倉市からの派遣を受ける
- ・ 佐賀県から週交代方式で建設2人×5週（10月1日～31日）農林2人×5週（10月7日～11月8日）の派遣
- ・ さらに11月から3月末までの期間にも派遣を受け、必要な作業を推進していく態勢を確保
- ・ 台風19号被災エリアとなり派遣見送られた自治体も

派遣自治体

日田市1
鎌倉市1
東海市1
恵那市1
小田原市1
田原市1
西尾市1
熊本市1
横手市1
有田市1
勝山市1
佐賀県1
福岡県3
長崎県1
熊本県2
大分県1
宮崎県1
山口県1

21. 国に対する支援の要請



復興・復旧に特段のご支援を

今回の大雨特別警報の豪雨で、多久市内に甚大な被害が発生しました。

警報前後のNHK全国ニュース・トップでは多久市の状況が報じられました。

記録的短時間大雨情報から間をおかぬ特別警報となり、多久市の災害対策本部は緊張感をもってこの災害に臨みました。

河川の越流・氾濫、人家損壊、山林・道路・河川の被害をはじめ、場合によっては犠牲者発生等の危機をも想定し、覚悟をもって災害対策に総力を投入しました。

なんとか人身に及ぶ被害はなかったものの、被災後に豪雨の傷跡が明らかになってきました。9月11日現在で、市道140か所、河川80か所、林道19路線で144か所、農地被害600か所（想定）、など甚大な被害となっています。

104行政区の区長からの報告での被災箇所は既に1000を越えます。

特に道路・河川・林野での土砂崩落や公共インフラ損壊などの被災が激しく大きく、国土交通省のTech Forceも最初は2隊でしたが、ヘリコプター調査により被害の広大さが判明し、3隊が緊急追加投入され、被災現地調査を実施されました。

住民の家屋裏の土砂崩落もひどい箇所もあり、人家に泥が激突、家屋内突入（部屋満杯）、敷地内に土砂礫石の拡散（1件でトラック10台以上等）など予想を超える被害状況であります。

これら被災の実情から早急な脱出と復旧復興を進めなければなりません。かかる現状をご賢察頂き、特段のご支援ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年9月

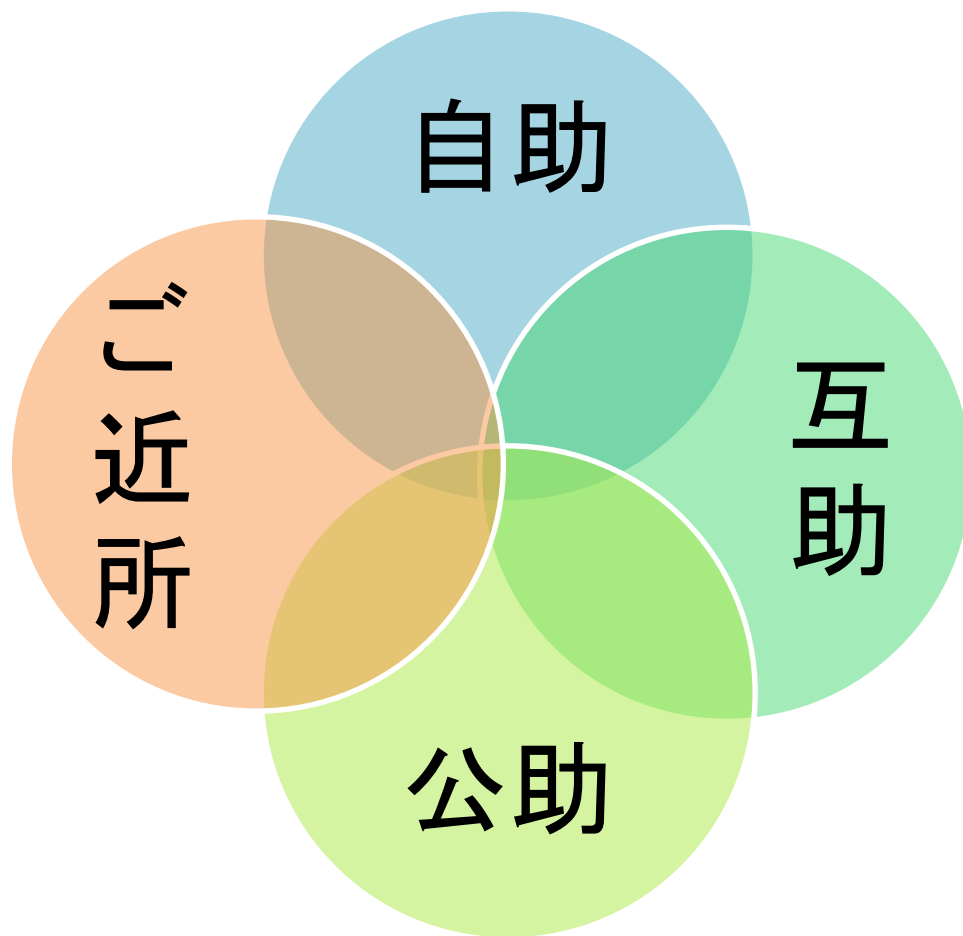
佐賀県多久市 市長 横尾 俊彦

22. 防災力・減災力の強化向上

- 自助・共助・公助 + 「ご近所」
- 個々の備え～非常時の備品、水、食料、服装・靴、お薬手帳など
- 気象情報などの理解活用力向上
- 自主防災組織の充実と地域協力
- 家族の連絡網と事前確認
- 防災メール配信への登録
- 情報伝達手段の改善
- 訓練・研修の充実



災害への助け合い



個々の備え

危機管理の要はイメージする力

日常から災害を想定する

公では及びきれない万全な備え

非常時の備品、水、食料、服装・靴、など

通帳・印鑑とともにお薬手帳なども忘れずに

自分に必要なもの

気象情報などの理解活用力向上

情報リテラシーの向上～生涯学習も必要になる

自ら判断して、自ら動けるように

スマホ・携帯の活用術

個々の市民の 情報入手力、理解力

防災メール登録など～自治体情報を確実に

事前防災の重要性

ハード 事前防災の重要性

- 公共インフラ・河川整備の促進
- 防災力向上・強靱化の推進

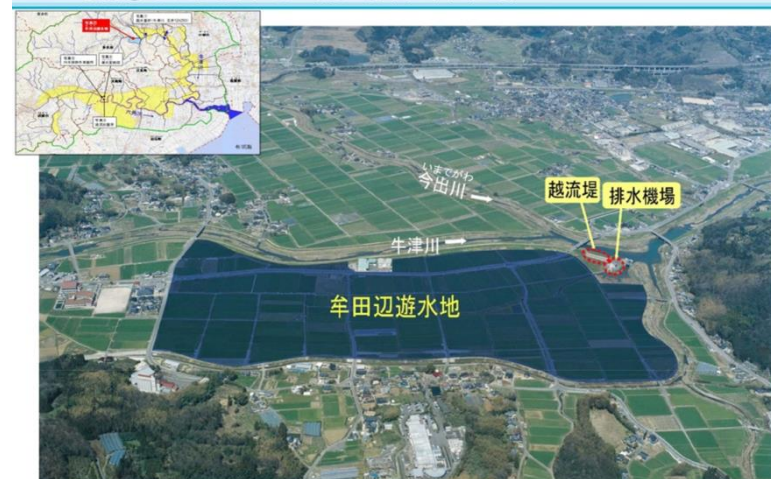
* 遊水地整備など

* 関係機関の情報共有

* 地球温暖化影響で気象変化

*「南洋のスコールだ」

6. 写真②牟田辺游水地 航空写真 (平常時)



法律 “百年に1回”が毎年……

- 災害の質も量も変わってきた。
- 従来の基準による災害支援・救援でよいのか、十分か？
- エリアのケア発想 vs 個々の被災ケア視点
- 被災は苦難。
心身ともに明日に繋がる支援を。

ソフトパワー 危機管理の強靱化

- 広域化・激甚化した災害：台風19号など
- 市区町村は眼前の対策で忙殺される
- 大所高所からの対策支援も重要
- 緊急事態・災害対策を行う組織
（米国のFEMAの発想）

人材力 大切な技術スタッフ確保

- 技術アドバイス支援は有難い
(有意義なTech-Forceのサポート)
- 整備局等に技術プロ集団の育成確保を
- 被災全容把握の大切さ
(国土交通省ヘリコプター映像で掌握)
- 今後はAI、IoT、ICTなど活用する時代

地方公務員の災害対応力向上

- 深刻な激甚災害が発生してからでは遅い
- 災害救助法などの法令の理解・活用
(平時に研修も必要。制度活用力向上)
- 国の機関・都道府県・市区町村の真の連携
- 事前に担当同士が知り合う
(顔の見える連絡・連携・協力を可能に)
- * 災害対策本部訓練 (より広域で)

乗り越えよう
“チーム多久市”
心をひとつに

市政報告会での結びの言葉です。
その思いで被災から復旧・復興を推進します。
今後とも皆様のご支援をお願いいたします。